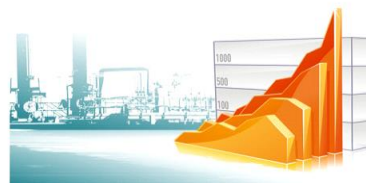


ぎふ経済レポート



平成28年1月分
岐阜県商工労働部

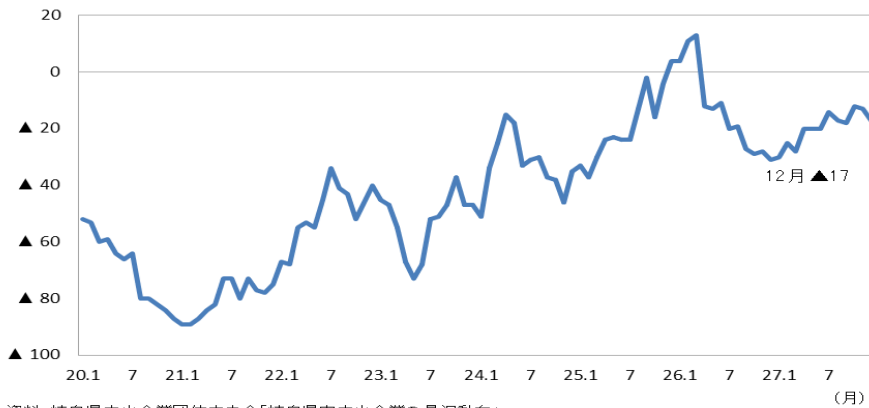
※企業等へのヒアリングは1月27日～29日を中心に実施し、2月5日に作成。

景気動向

- 12月の県内中小企業の景況感は、マイナス17と前月より4ポイント下降した。
- 平成27年10-12月期の景況感は、製造業で低下したものの、非製造業で上昇した結果、全体で3.9ポイント上昇し、3期連続の上昇となった。

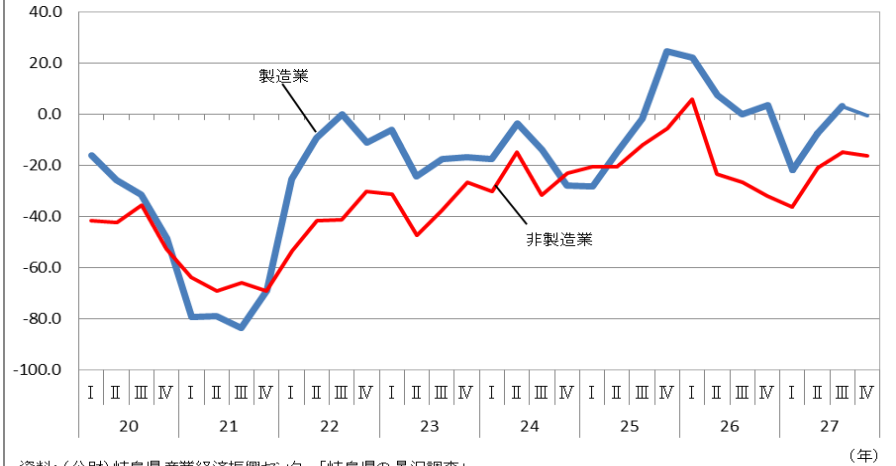
- 平成27年10-12月期の売上高は、製造業・非製造業ともに2期ぶりに減少した。
- また、利益は、製造業が3期連続で増加し、非製造業は2期ぶりに増加した。

県内中小企業の前年同月比景況感DI（好転-悪化）の推移



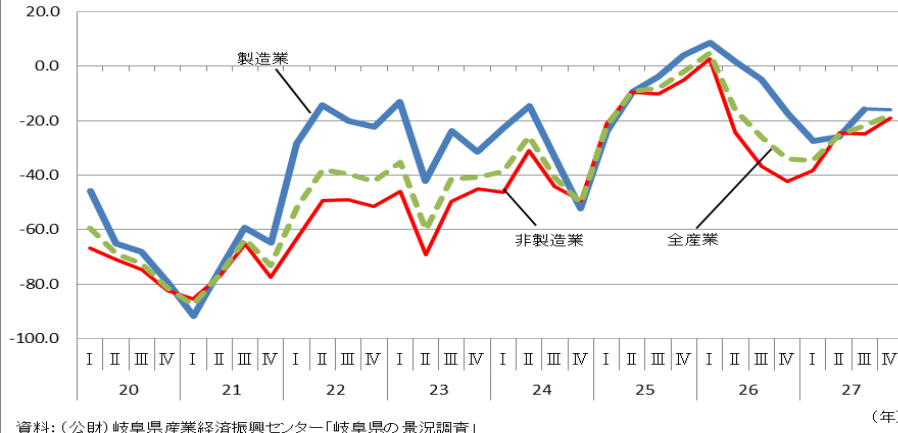
資料：岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」

県内企業の売上高DI（増加-減少）の推移



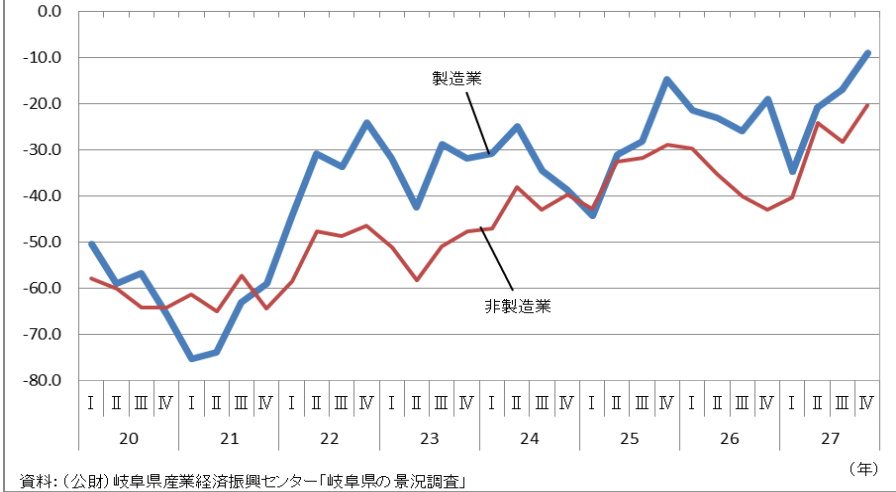
資料：(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

県内企業の景況DI（増加-減少）の推移



資料：(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

県内企業の採算DI（増加-減少）の推移

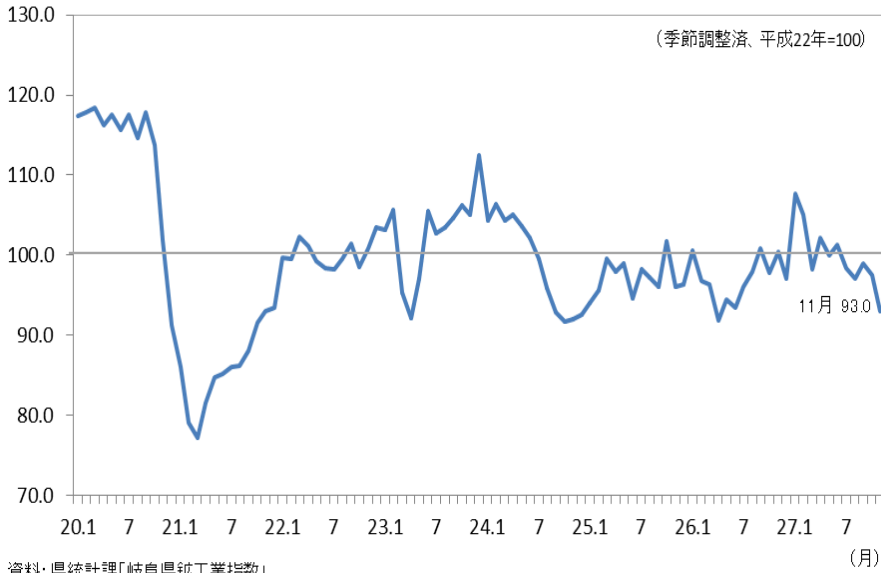


資料：(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

製造業

○11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.0と前月比マイナス4.6ポイントとなり、2ヶ月連続で低下した。

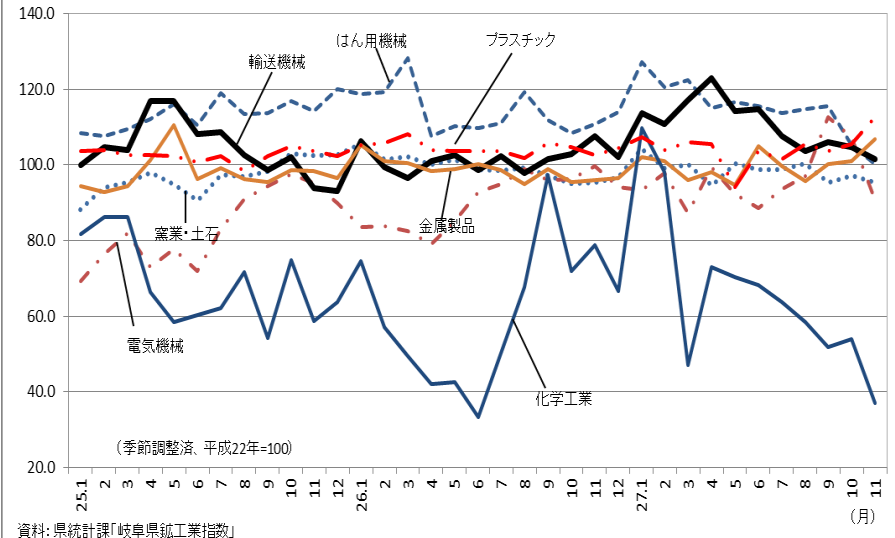
鉱工業生産指数の推移



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」

○11月の主な産業の鉱工業生産指数(季節調整済)は、金属製品、プラスチックが前月より上昇し、はん用機械、電気機械、輸送用機械、窯業・土石、化学工業、が前月より下降した。

主な産業の鉱工業生産指数

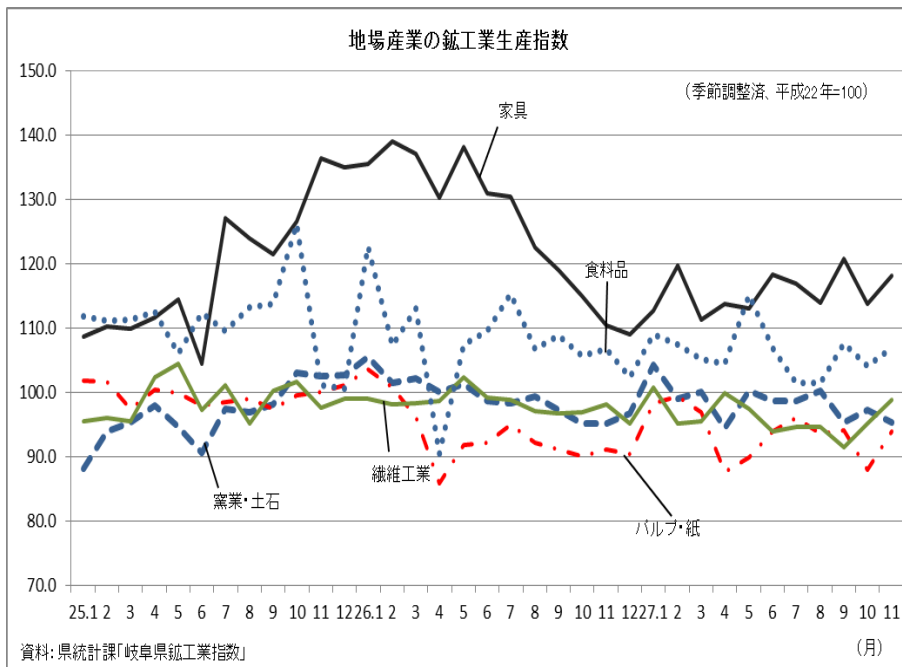


現場の動き

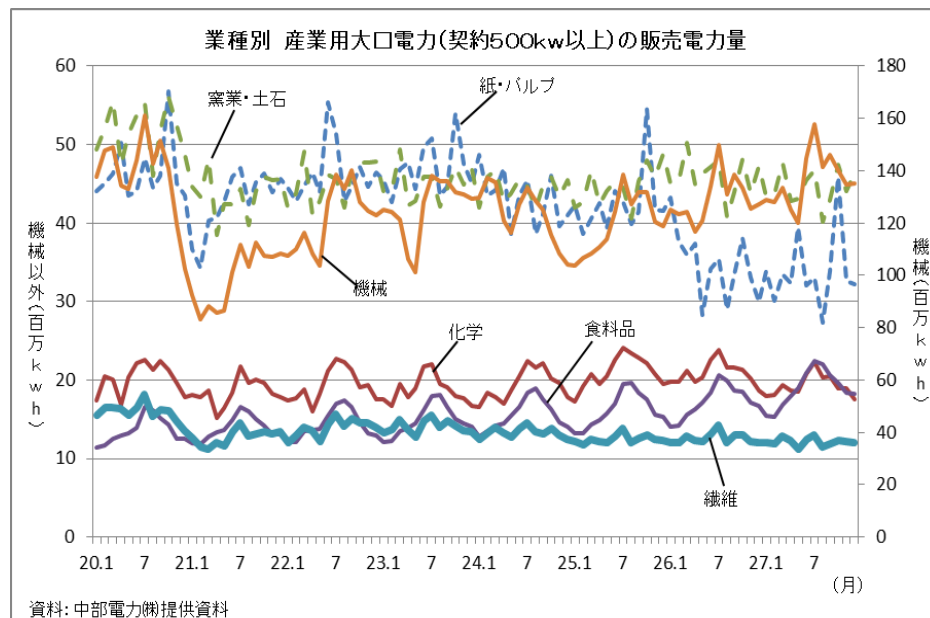
- ◆受注対前年比3割増を維持している。新型プリウスの受注が増えている。
- ◆1月の受注状況は、高い水準で先月から横ばいである。(以上、輸送用機械)
- ◆中国及び東南アジア向けの自動車の輸出部品は、現地の景気の減退により減少傾向。一方、北米向け自動車及び産業機械部品は好調を維持している。(生産用機械)
- ◆売上・受注量とも対前月比横ばい状態。(はん用機械)
- ◆売上・受注とも対前年比1割程度増加した状態で堅調。(非鉄金属)
- ◆売上は、新型プリウスの影響もあり、対前年で5%程度増加。(金属製品)
- ◆全体としては、売上高前月比4.4%増。(プラスチック)

製造業-2

○11月の地場産業(刃物を除く)の生産指数は、パルプ・紙、繊維工業、食料品、家具が前月より上昇したものの、窯業・土石は低下した。



○12月の工場向け電力販売量は、機械が7ヶ月連続で、紙・パルプが2ヶ月ぶりに前年を上回った。また、化学が18ヶ月連続で、窯業・土石が2ヶ月ぶりに前年を下回った。

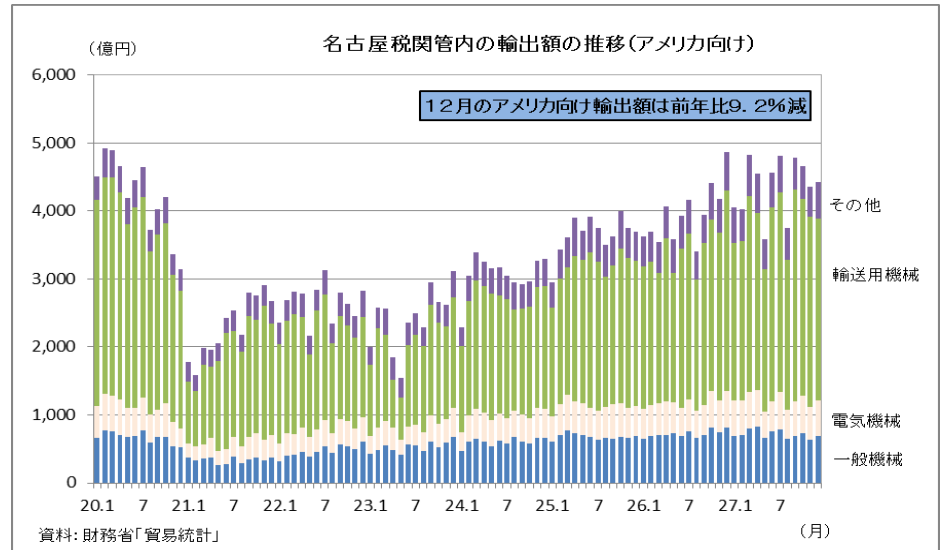
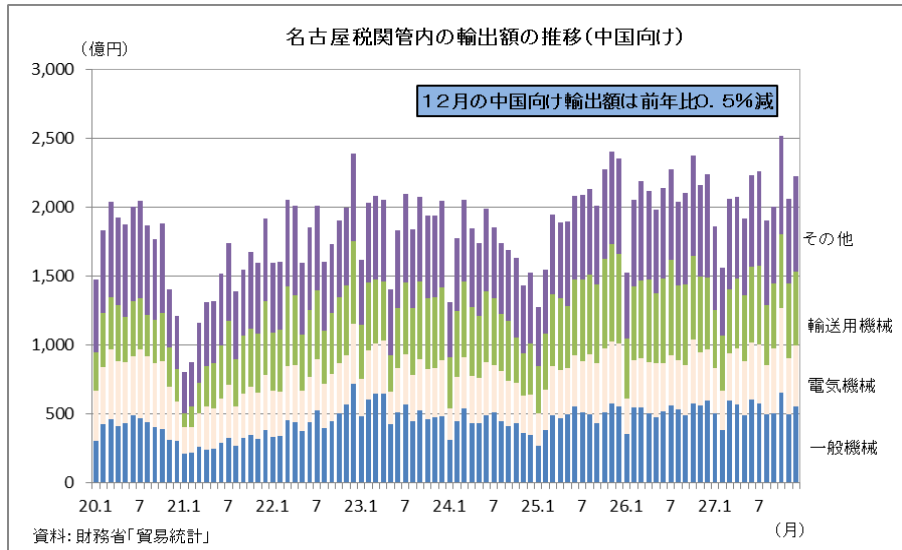
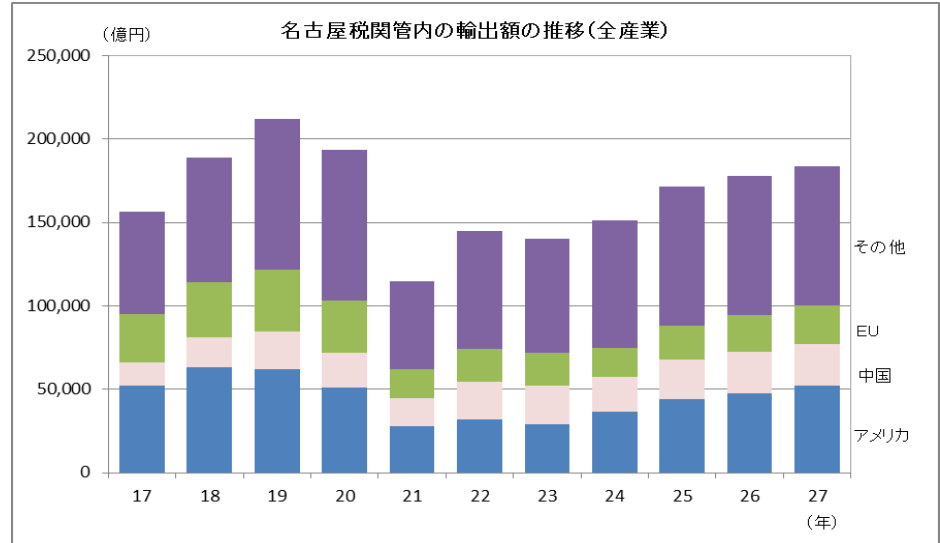
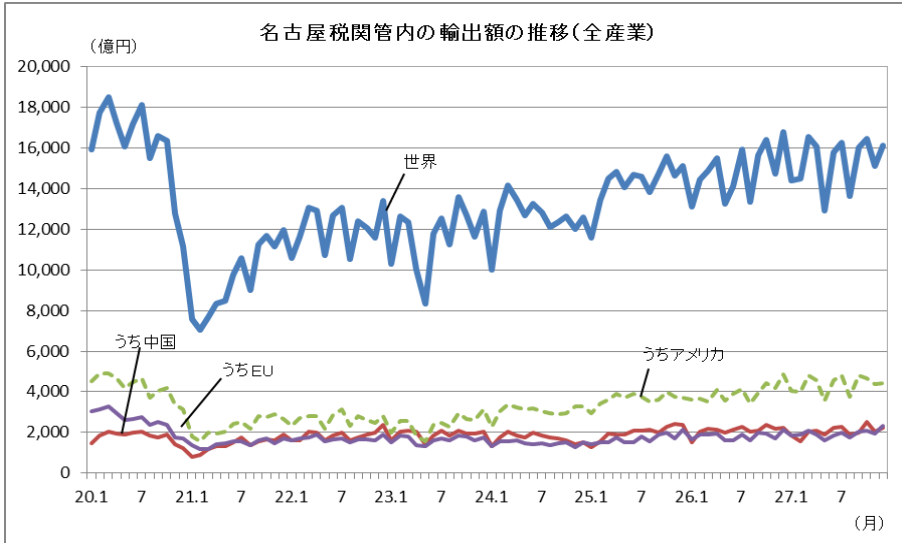


現場の動き

- ◆売上は、前年度比15%増。末端消費者をターゲットにした製品は昨年度より倍の売上となった。(紙)
- ◆業績はほぼ横ばいに推移している。(陶磁器)
- ◆原材料費は増えているが価格転嫁できていないため、利益を上げることが困難。(アパレル)
- ◆売上は対前年同月比で約10%増。爆買い及び国内で日本製品の良さが見直されていることが要因。
- ◆売上は対前年同月比115%。アメリカ、ドイツの展示会に出展して販路拡大に取り組んでいる。(以上、刃物)
- ◆売上・受注ともに前年と同水準で推移。(木工)

輸 出(名古屋税関管内)

- 12月の輸出額は1兆6,115億円、前年同月比3.9%減と7ヶ月ぶりに前年を下回った。
- うち中国向けは、一般機械が減少し、同0.5%減と2ヶ月連続で前年を下回った。
- うちアメリカ向けは、全ての産業で減少し、同9.2%減と16ヶ月ぶりに前年を下回った。



為替・原油価格の動向による影響について

- ◆アルミ価格が原油価格の下落や中国の不安定な情勢等の要素もあり、下落を続けている。(輸送用機械)
- ◆重油が安くなっているため、製品の製造原価が下がっており利益率が改善されている。(プラスチック)
- ◆パルプの値上げにともなう原料価格の値上がりがあったが、現在は特に影響はない。(紙)
- ◆原油安による光熱費低減は生産コストを押下げるが、円安は原料費の高騰に繋がるため警戒。(食料品)

アベノミクスの効果・影響について

- ◆補助金や税制優遇などを有効に活用している。(輸送用機械)
- ◆法人税率引き下げ等により税金が減少した。(プラスチック)
- ◆景況感はやや良い。(生産用機械)
- ◆円安等の理由により外国人観光客が増えているのは、アベノミクスの効果によるものだと思う。(高山市商店街)
- ◆アベノミクス効果は感じられない。(アパレル、木工、紙、小売、住宅関連)

消費税率が10%に引き上げられた場合の影響について

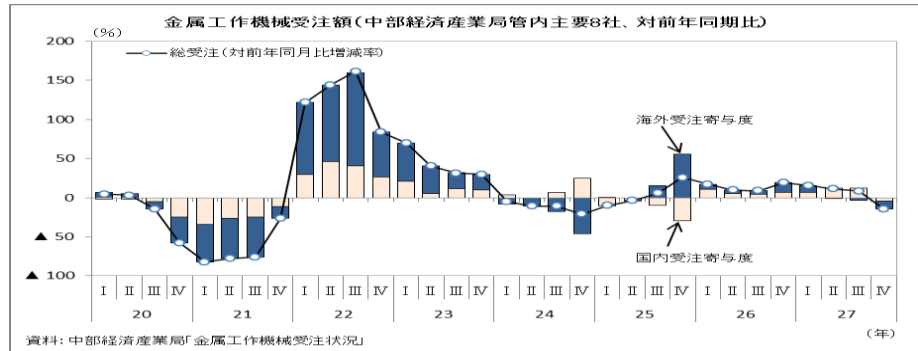
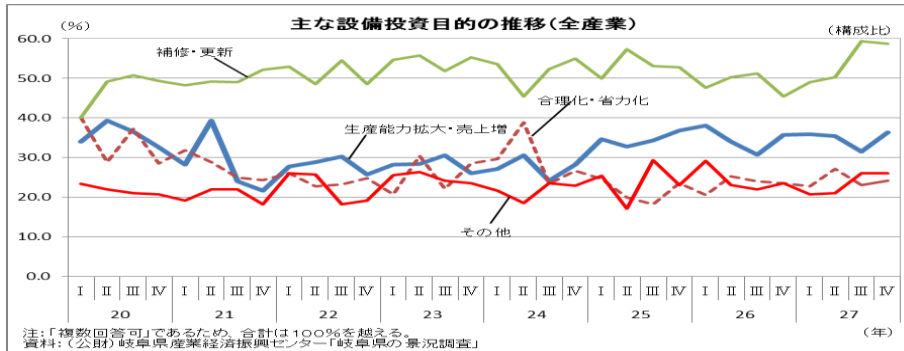
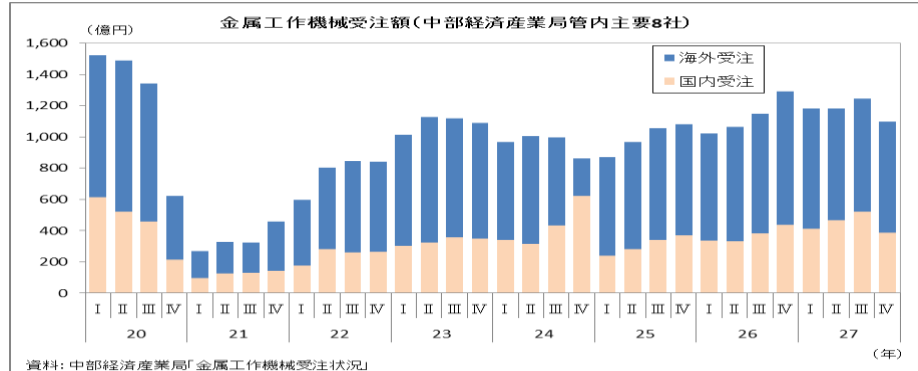
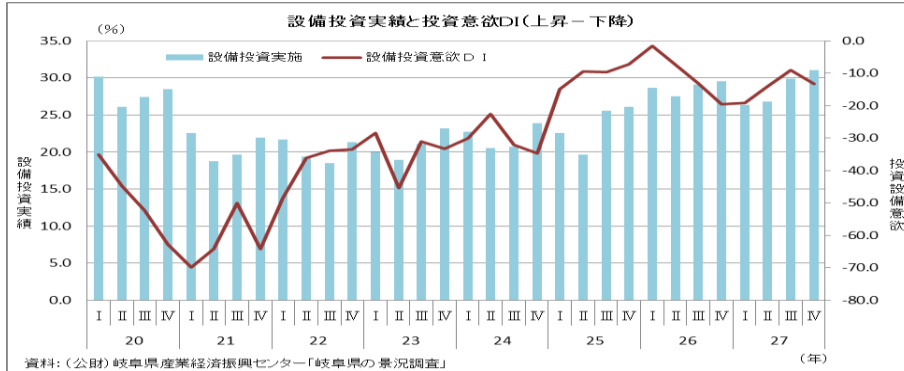
- ◆車は駆け込み需要がかなり見込まれ、生産が間に合わない事態が発生すると思われる。(金属製品)
- ◆8%の時と同様売上の減少が予想されるため不安。(高山市商店街)
- ◆軽減税率適応の品目次第では影響度が大きくなることも予想されるが、現時点では見通しが立たない。(コンビニ)

TPPの影響について

- ◆中国工場から輸入して国内販売をしているため、影響は限定的と考える。(アパレル)
- ◆ほとんど国産の材料を使用しているため、マイナスの影響を懸念している。(和菓子店)
- ◆影響があるのかは不明。為替の乱高下の方が影響が大きいと思われる。(製材)
- ◆自社製品が使用されている自動車が多く販売されるようになることを期待。(輸送用機械)
- ◆影響を直接受けることはない。経済が上向けば、売上は上がるが、影響の度合いや金額は不明。(スポーツ用品)
- ◆どれくらい影響がでるかはわからない。(輸送用機械、金属製品、食料品、木工、陶磁器、刃物ほか)
- ◆現状では影響はないが、これから海外進出を考えているためチャンスだと思う。(木工)
- ◆陶磁器産業は恩恵を受ける可能性が高く、期待している。(金融)

設備投資

- 平成27年10－12月期の設備投資実績は3期連続で増加した。目的別では、「生産能力拡大・売上増」、「合理化・省力化」が増加し、「補修・更新」が減少した。
- 平成27年10－12月期の金属工作機械受注額は、海外・国内受注とも減少し、前年同期比で14.8%減少し、10期ぶりに前年を下回った。



現場の動き

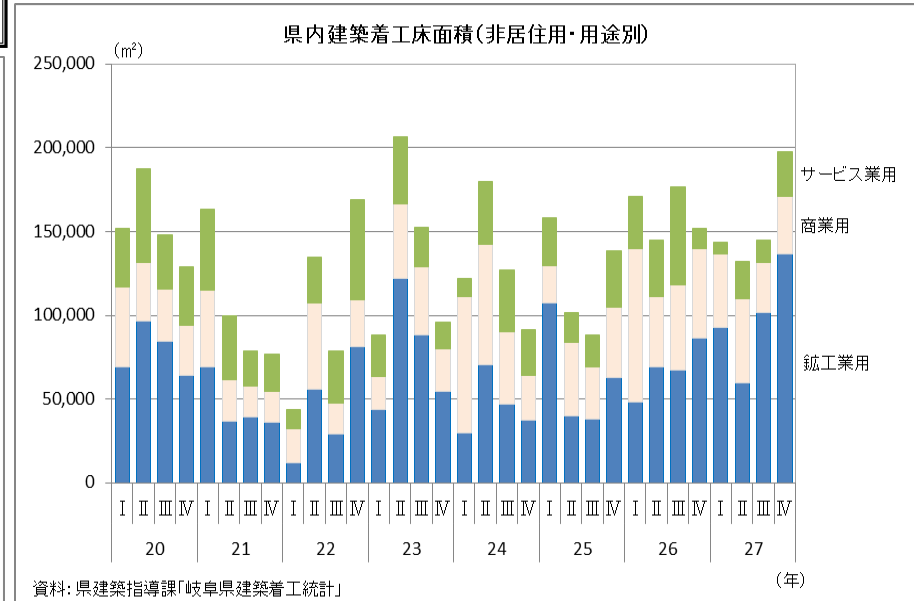
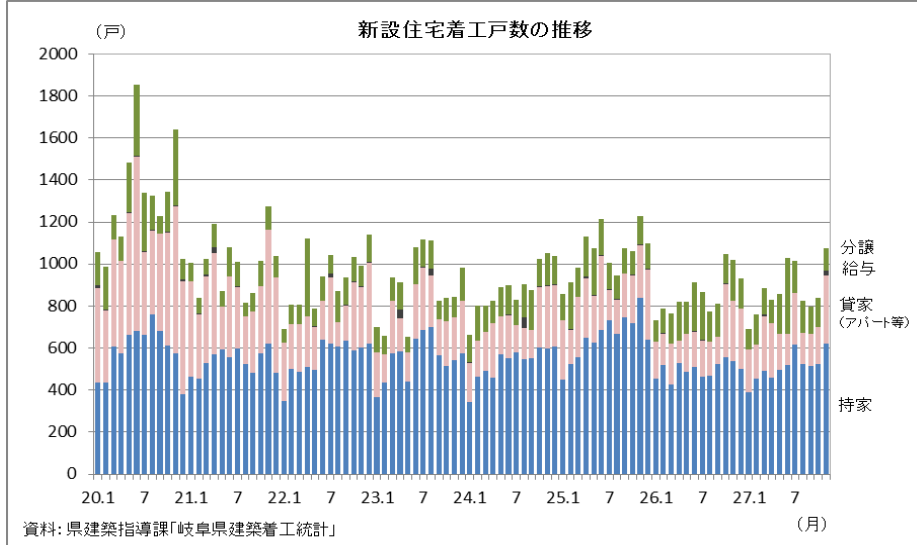
- ◆航空機関連部品製造工場の増設は、3月に完成予定。(輸送用機械)
- ◆2月に新工場が竣工。(金属製品)
- ◆製造原価を削減し合理化を図ることを目的として機械設備を導入した。(プラスチック)
- ◆人材確保が難航しており、省人化対策としての機械化が急務。試験的に一部ラインを機械化する予定。(食料品)
- ◆繊維加工する機械が経過年数20年以上となり古くなったため、リニューアルを検討中。(紙)

住宅・建築投資

○12月の住宅着工戸数は、分譲、持家、貸家が減少したことにより、全体で前年同月比10.4%減と2ヶ月ぶりに前年を下回った。

○平成27年の年間着工戸数は10,436戸で、前年比1.5%増と2年ぶりに増加した。

○平成27年10-12月期の建築着工床面積は、商業用が減少したものの、鉱工業用、サービス業用が増加し、全体で前年同期比30.1%増加。対前期比では、2期連続で増加した。

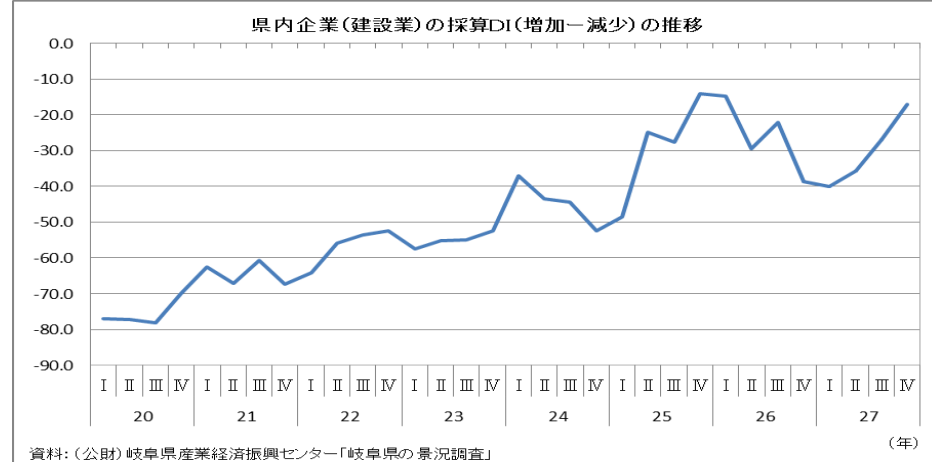
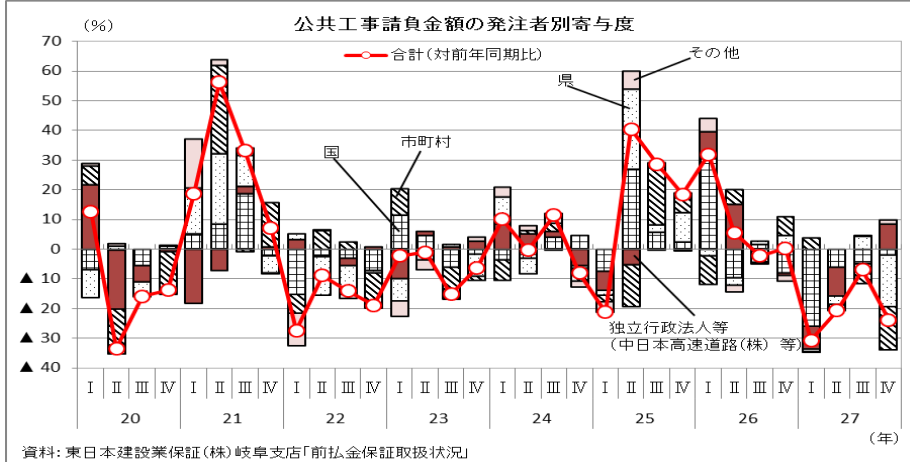
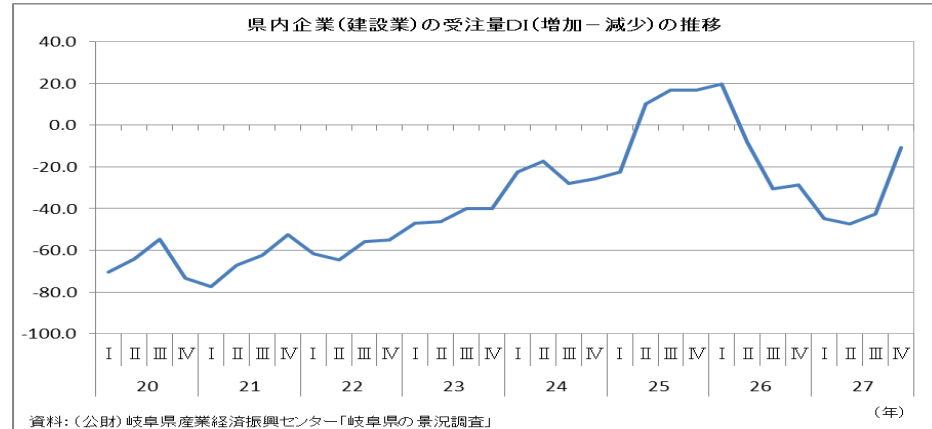
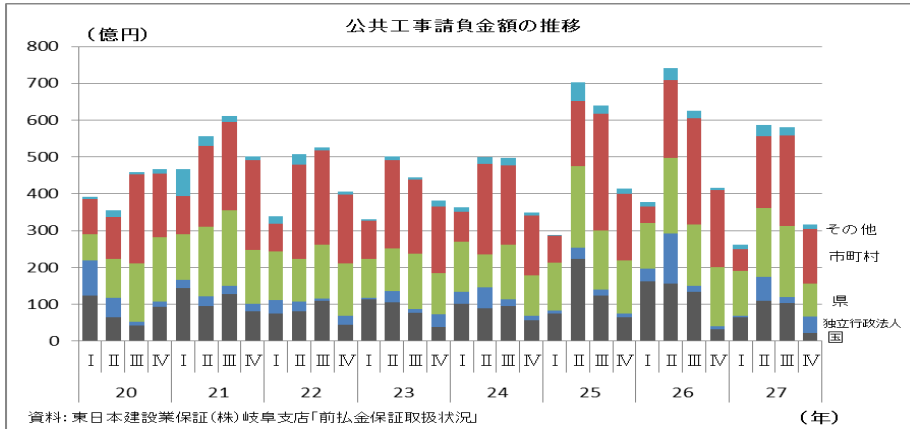


現場の動き

- ◆先月より受注状況は1割程度良かった。(製材)
- ◆1月はイベントが多いため集客数は伸びたが、まだ鈍いと感じる。
- ◆正月イベントへの来客数は、例年の2~3倍と多かった。(以上、住宅関連)
- ◆原木の流通量は、前月から横ばい状況。
- ◆A材(製材用材)、B材(集成材)の需要は旺盛。
- ◆C・D材(チップ・燃料用材)については、バイオマス発電施設稼働に伴う原木需要増の影響等から需要が非常に旺盛な状況が続いている。(以上、森林組合連合会)

公共工事

- 平成27年10－12月期の公共工事請負金額は、前年同期比23.9%減と4期連続で減少。独立行政法人等、その他を除く発注が前年同期比で減少した。
- 平成27年10－12月期は受注DI、採算DIともに改善した。

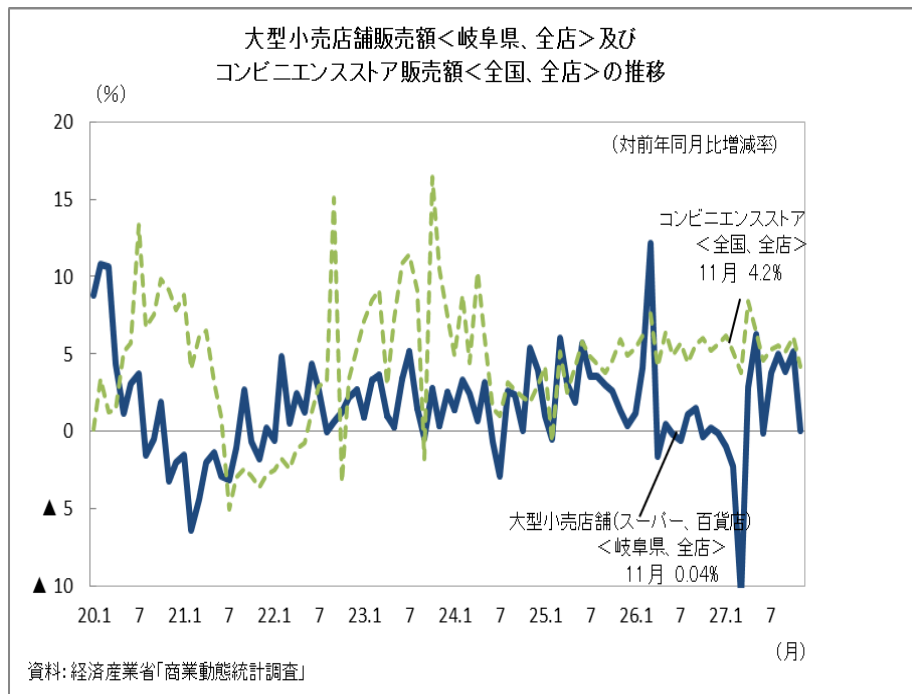


現場の動き

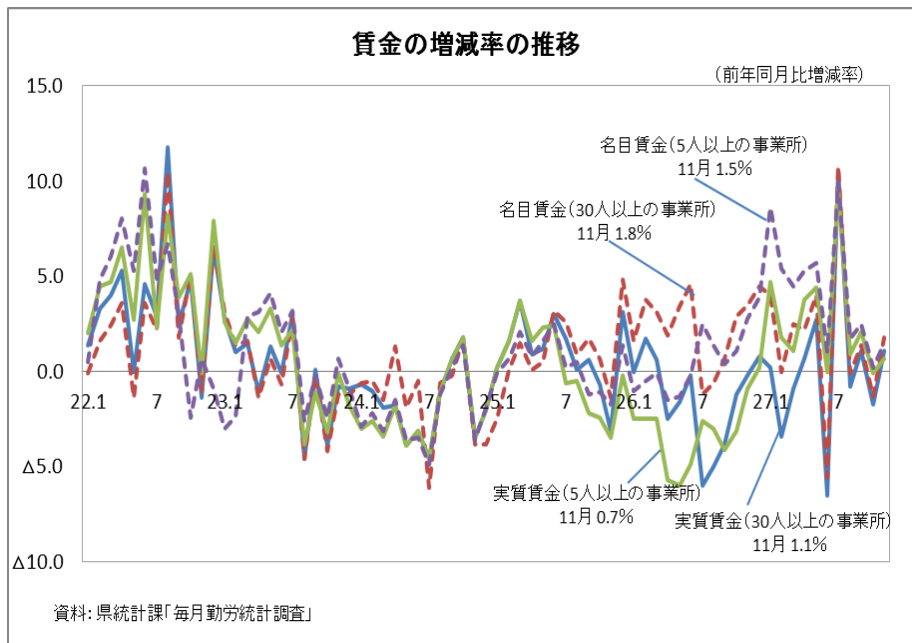
- ◆国・県・市町ともに受注量が減少している。また、工事の受注減により技術者の不足感は以前より少なくなっている。
- ◆公共・民間工事ともに、工事の大小問わず手持ち工事量が全体的に少ないと感じている。(以上、業界団体)

個人消費(流通・小売)

○11月の大型小売店販売額は、前年同月比0.04%増と5ヶ月連続で前年を上回った。



○11月の実質賃金は、従業員5人以上の事業所は前年同月比0.7%増、従業員30人以上の事業所は、同1.1%増となった。



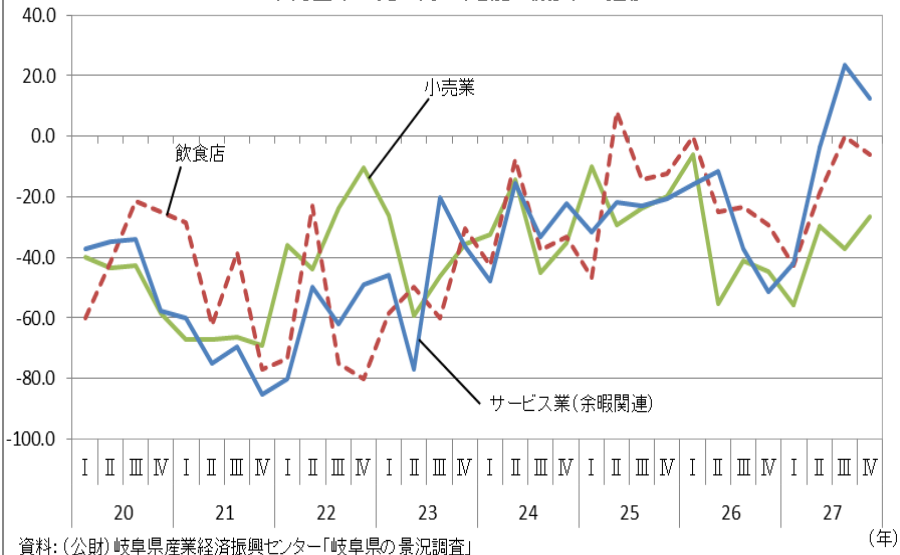
現場の動き

- ◆売上は前年同月比114%、来客数は同比105%。
- ◆福袋については、単価の高いものが売れ、商品券の入った飲食の福袋が好調であった。(大型小売店)
- ◆売上は、暖冬により1月上旬まで伸びず、それから寒くなり雪が降ったことで瞬間的に伸びたが、1月としてはマイナスで推移した。(スポーツ用品)
- ◆売上は前年同月比80%、客数同80%、客単価同100%。暖冬により、暖房器具が売れなかった。(家電)
- ◆売上、貨物量ともに前年同水準で推移。原油価格が安くなっているため、昨年より2割ほど楽になっている。(運輸)
- ◆売上は前年同月比112.6%、客数は同比109.2%。調理麺や調理パン等、中食が引き続き好調に推移した結果、売上、客数ともに高い伸び率となった。(コンビニ)

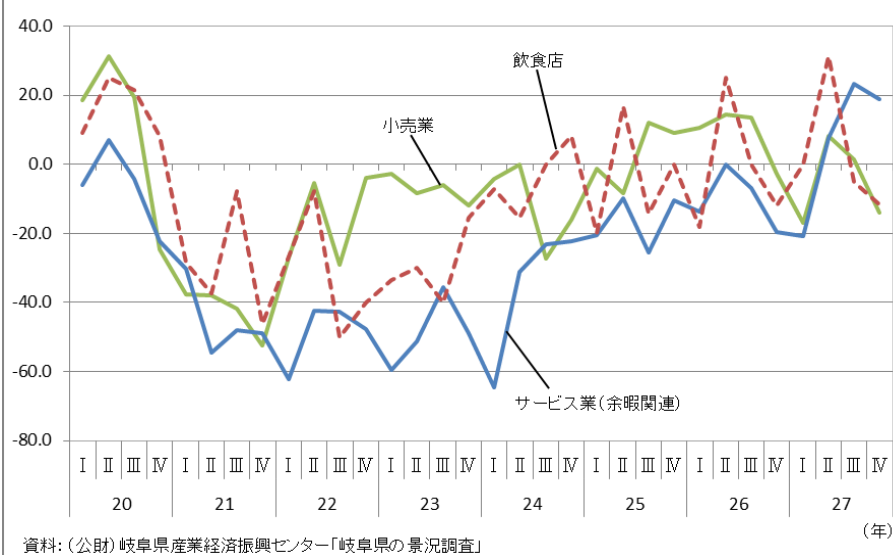
個人消費(流通・小売)－2

○平成27年10－12月期の小売業については、売上高は増加したものの、販売価格は減少した。飲食業、サービス業(余暇関連)については、売上高、販売価格ともに減少した。

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



県内企業の製品販売価格DI(上昇-下降)の推移



現場の動き

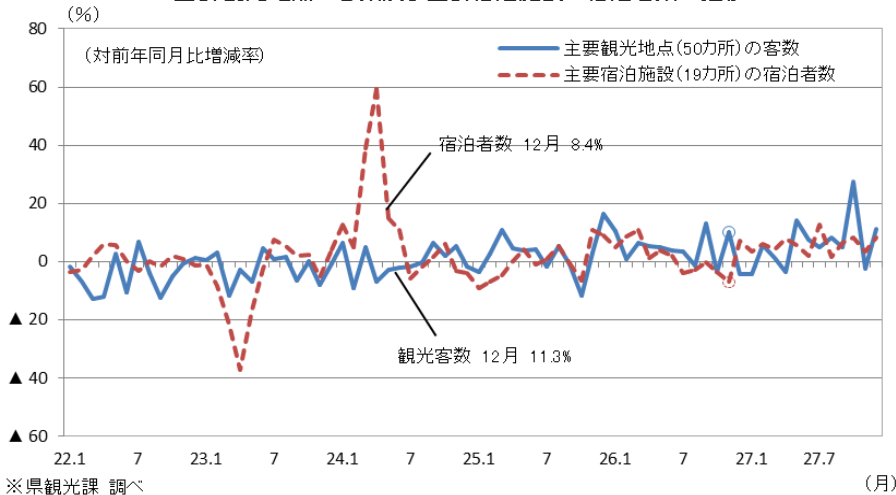
- ◆館全体の売上は、正月イベント、フェアを展開し前年同月比100%を上回った。(アクティブG)
- ◆年始は天候に恵まれたが、12月が良かった反動からか、あまり良くなかった。
- ◆売上は、婦人服が前年同月比80%、メガネ店が同95%、飲食店が100%弱。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆暖冬だったためか団体客の新年会が目立ち、街中の賑わいがあった。
- ◆売上は、婦人服店が前年同月比90%、和菓子店が同101%。(以上、大垣市商店街)
- ◆年末年始は外国人観光客が多かった。
- ◆売上は、土産・雑貨店が前年同月比102%、衣料品店が同96%。(以上、高山市商店街)
- ◆年始は暖かく人出もあったが、20日に雪が降り寒くなってからは人出が減った。
- ◆売上は、酒類販売が前年同月比100%、子供服が同100%弱。(多治見市商店街)

観光

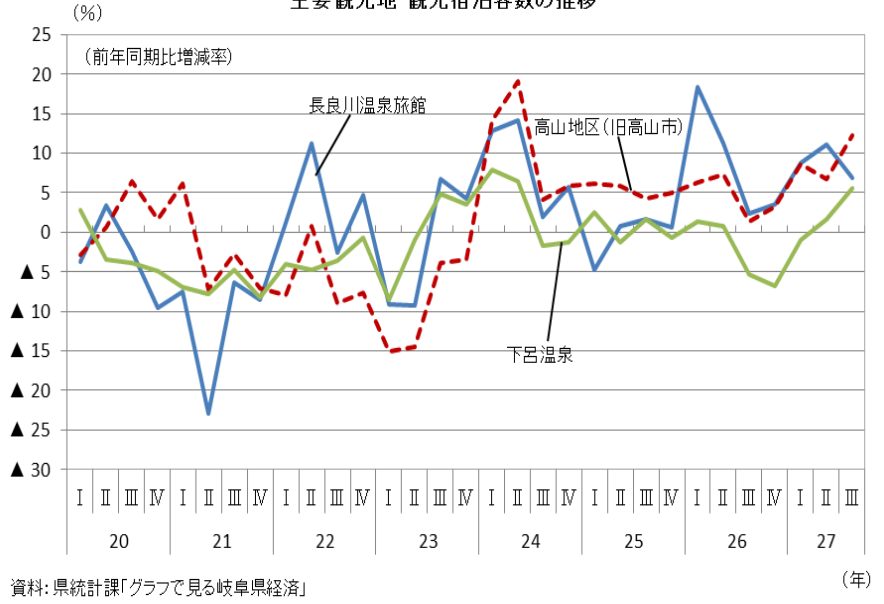
○12月の主要観光地における観光客数は、前年同月比11.3%増と2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。主要宿泊施設における宿泊者数は同8.4%増と13ヶ月連続で前年を上回った。

○主な観光地の平成27年7-9月期の観光客数は、全ての地区で前年を上回った。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移



主要観光地 観光宿泊客数の推移

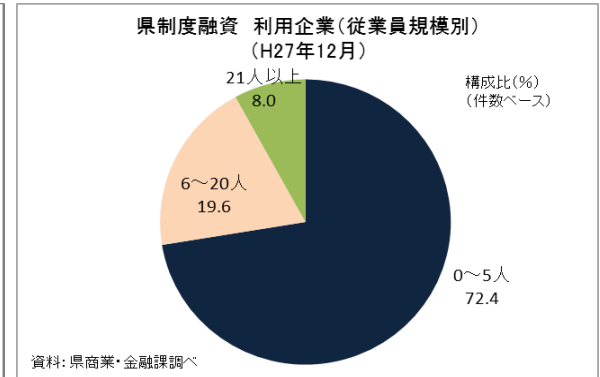
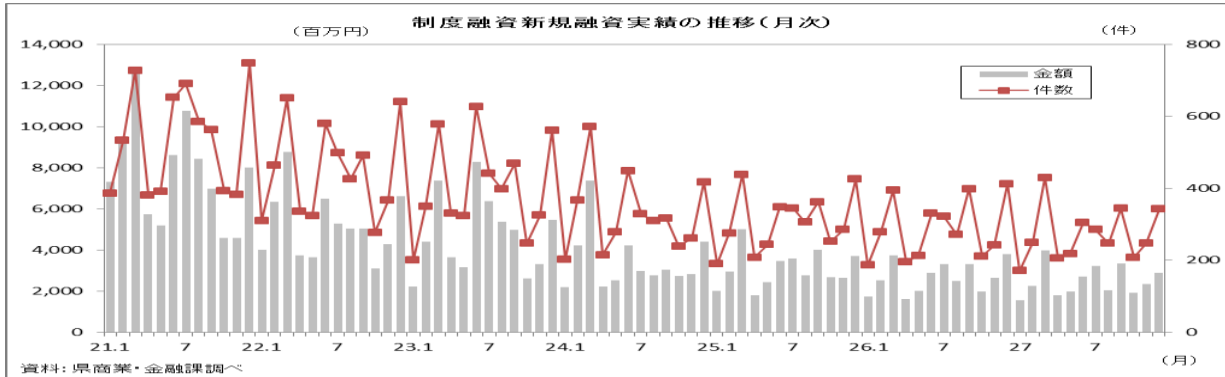
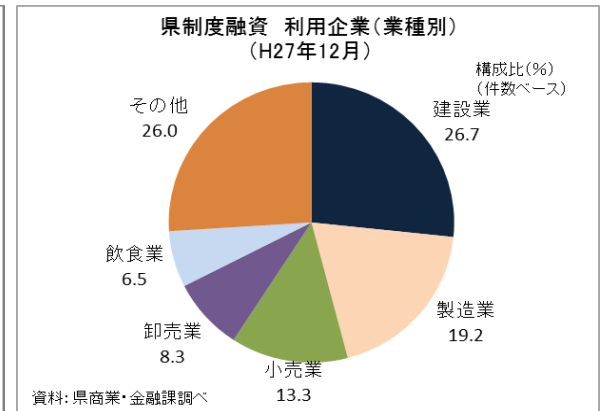
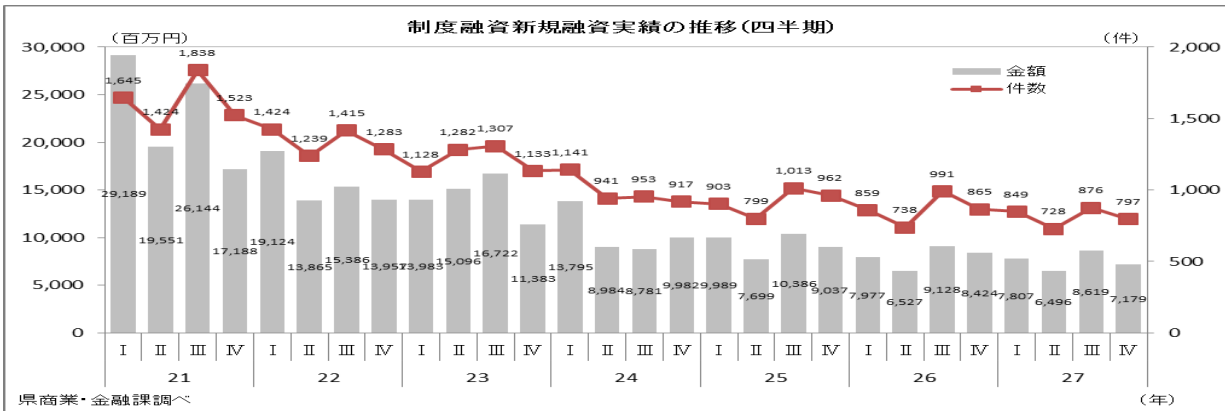


現場の動き

- ◆ 宿泊施設、観光入込客ともに、暖冬の影響により観光客の旅行意欲が衰えず、また降雪が少なく道路状況が良かったことが幸いし、前年比と比べ大きく増加した。(観光地・宿泊施設の総括)
- ◆ 個人・団体とも、比較的好調に推移。ふるさと旅行券発行により予約が好調。
- ◆ 降雪によるキャンセルがなかった。(以上、岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ アジアからの観光客が引き続き好調である。(高山市内の宿泊施設)
- ◆ 中国客が多いが、他国・他地域からの観光客も全体的に増加している印象。
- ◆ 暖冬により、個人客の直前予約が増加している。インバウンドについては、ツアーのみならず、FITも増加。
- ◆ マレーシアのツアー団体が好調である。(以上、下呂市内の宿泊施設)

資金繰り

- 新規融資実績は、平成21年秋口から沈静化が続いていたが、下げ止まりの兆しがみられる。
- 12月の実績は金額が前年同月比23.7%減と3ヶ月連続で減少し、件数は同17.0%減と2ヶ月ぶりに減少した。
- 建設業・製造業の利用が多く、従業員5名以下の零細企業が約7割を占める。



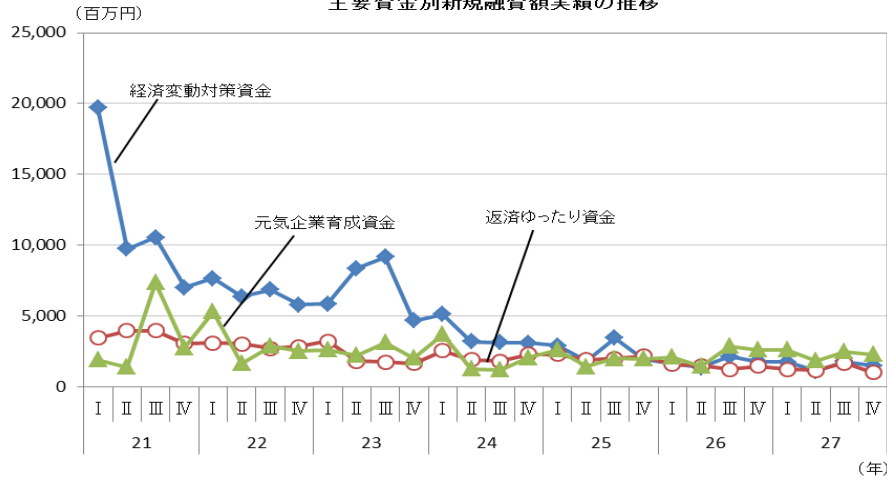
現場の動き

- ◆新規融資が若干鈍くなっている。
- ◆更新目的が主であるが、増産目的も散見される。(以上、金融)

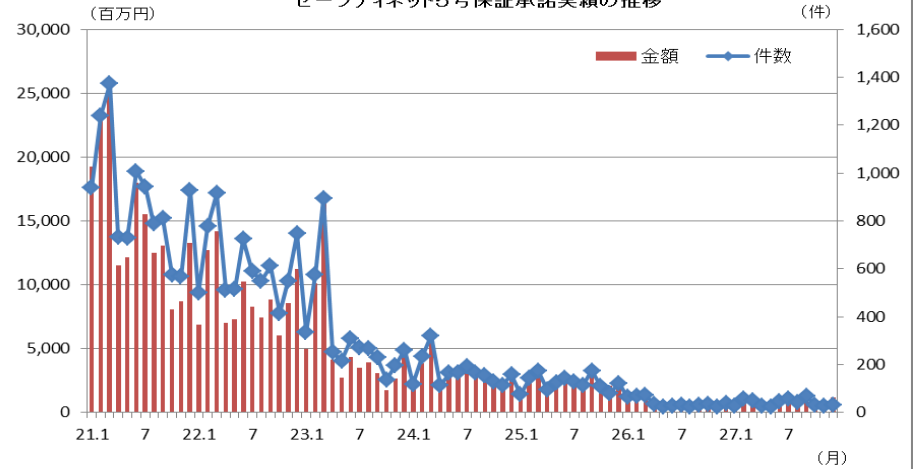
資金繰りー2

- 業況の悪化している業種に属する中小企業者を支援するための措置である「セーフティネット保証5号」の承諾実績は、平成21年秋口から沈静化が続いていたが、緩やかに増加に転じつつある。
- 平成27年10-12月期の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)件数は、前年同期比で19.8%増加、金額で20.6%増加した。

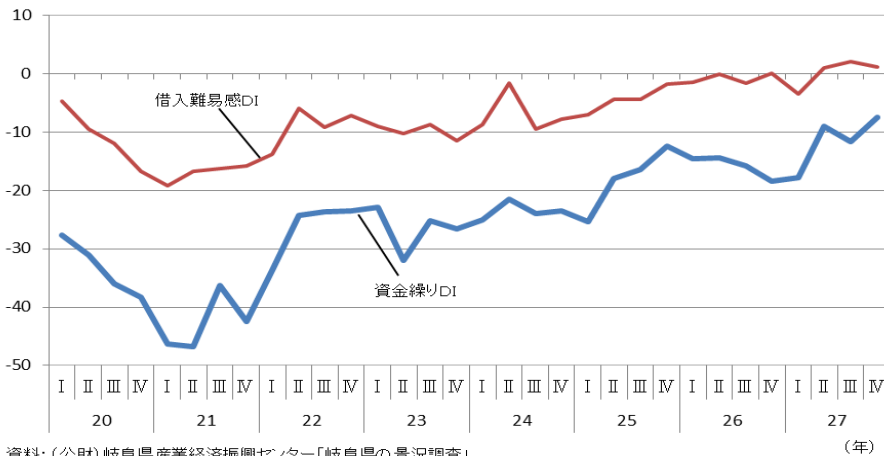
主要資金別新規融資実績の推移



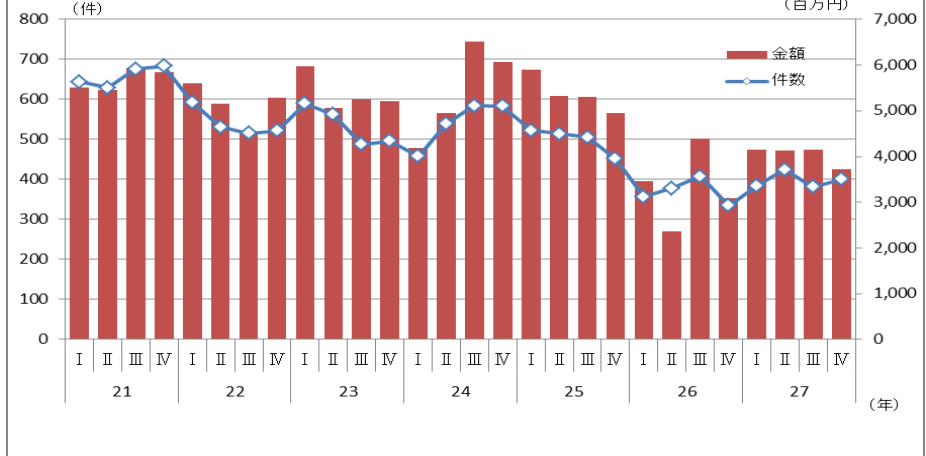
セーフティネット5号保証承諾実績の推移



県内企業の資金繰りDI(好転-悪化)及び借入難易感DI(容易-困難)の推移



県信用保証協会 事故報告の受付状況

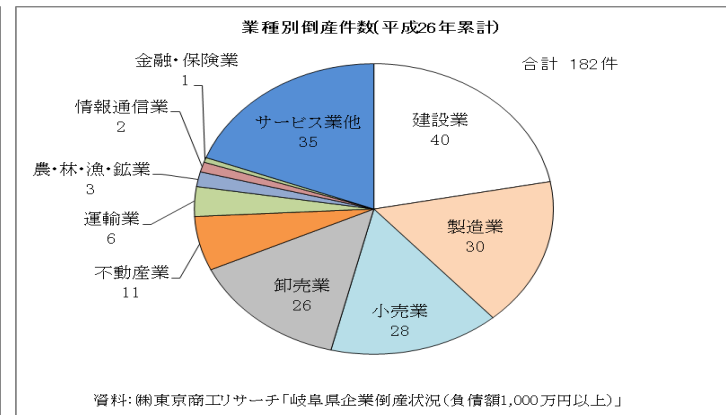
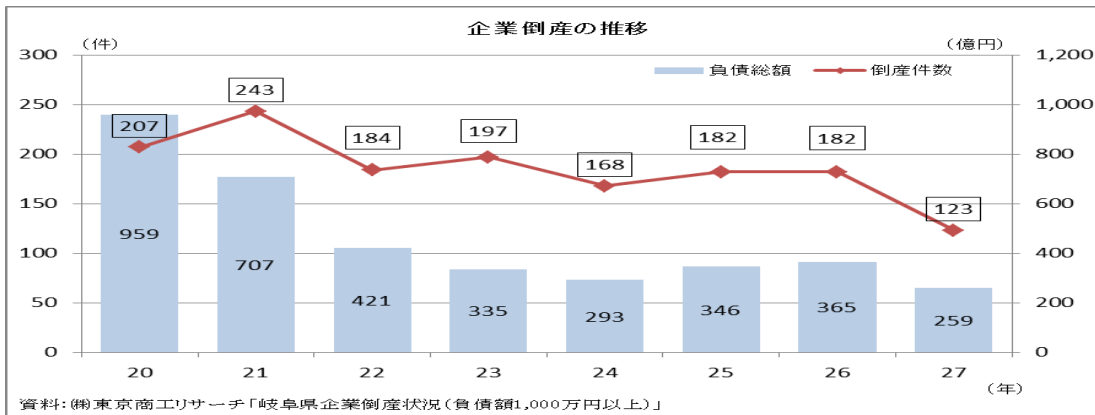
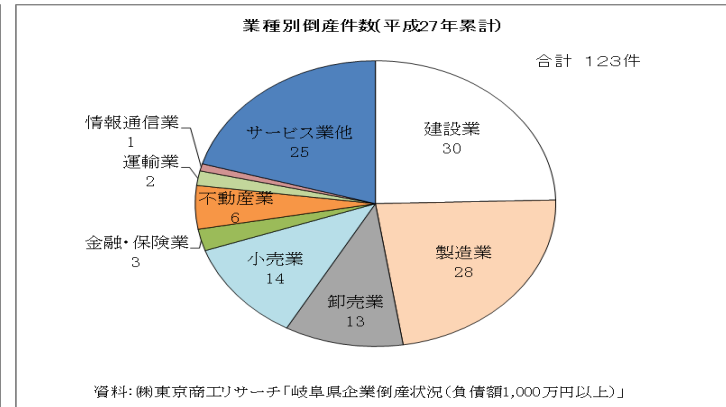
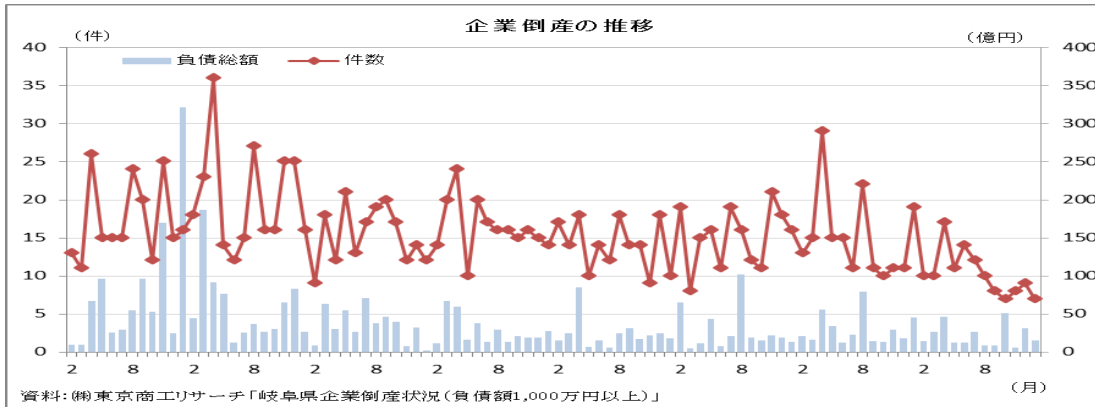


資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

倒産

○12月の倒産件数は前年同月比63.2%減の7件、負債総額は同66.8%減の15億1600万円となった。

○業種別では、建設業と製造業で倒産件数の約5割を占めている。



専門機関の分析(東京商工リサーチ)

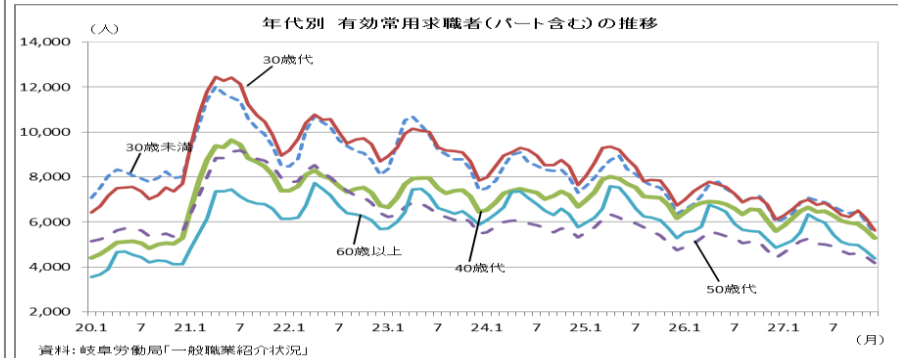
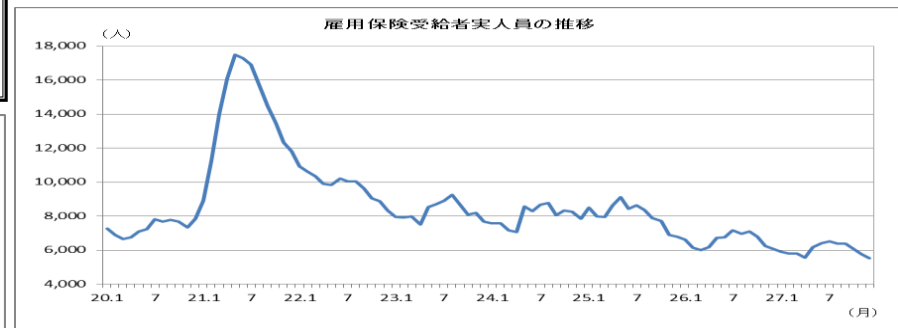
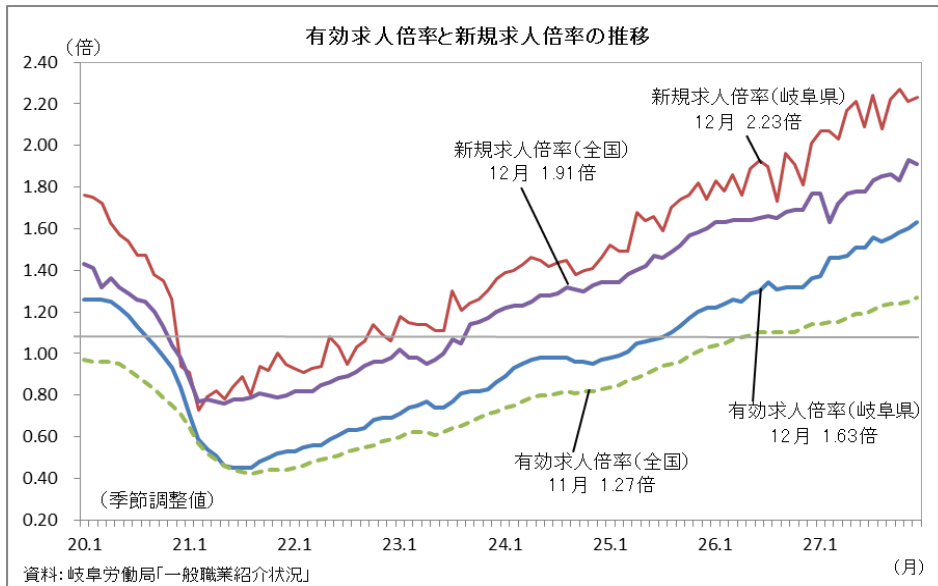
- ◆倒産件数及び負債総額は前年同月比で大きく減少。
- ◆平成27年の倒産件数は123件(前年比32.4%減)、負債総額は259億円1,600万円(同比28.9%減)と低水準に推移。
- ◆大企業を中心に業績改善が見られるほか、金融機関の返済猶予等による支援が倒産発生を抑制している。
- ◆今後の展開として、倒産発生の激増は考えにくいですが、一定程度の倒産発生は続く見通し。

雇用

○12月の有効求人倍率(季節調整値)は1.63倍と前月より0.03ポイント上昇した。

○12月の新規求人倍率(季節調整値)は2.23倍と前月より0.02ポイント上昇した。

○12月の雇用保険受給者人員は前年同月比8.9%減と30ヶ月連続で前年を下回った。



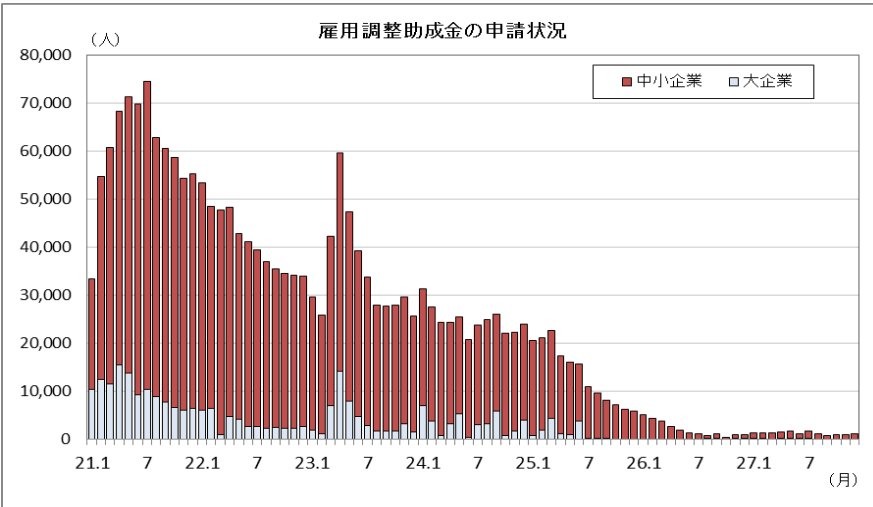
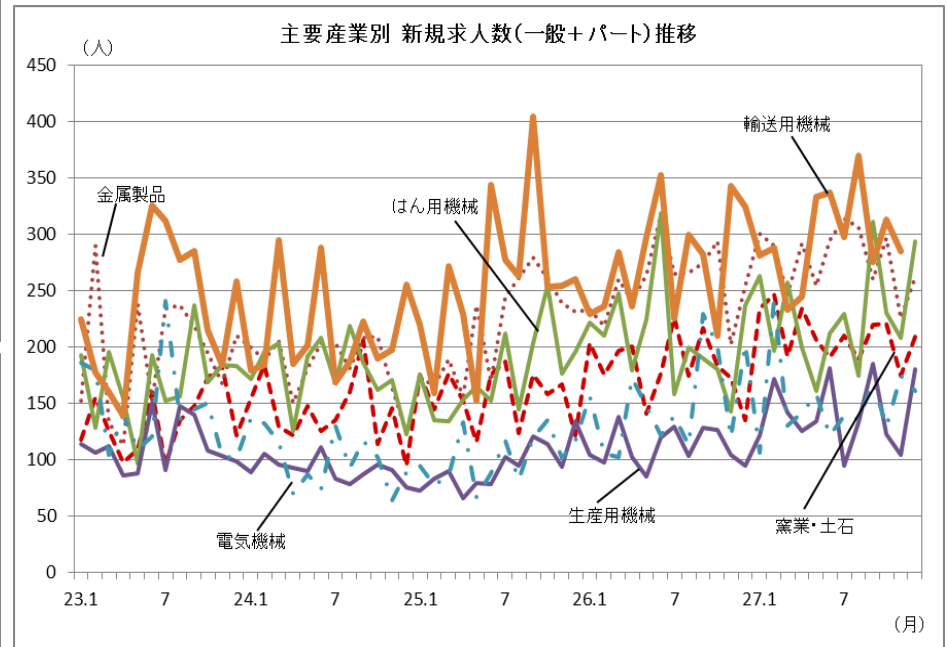
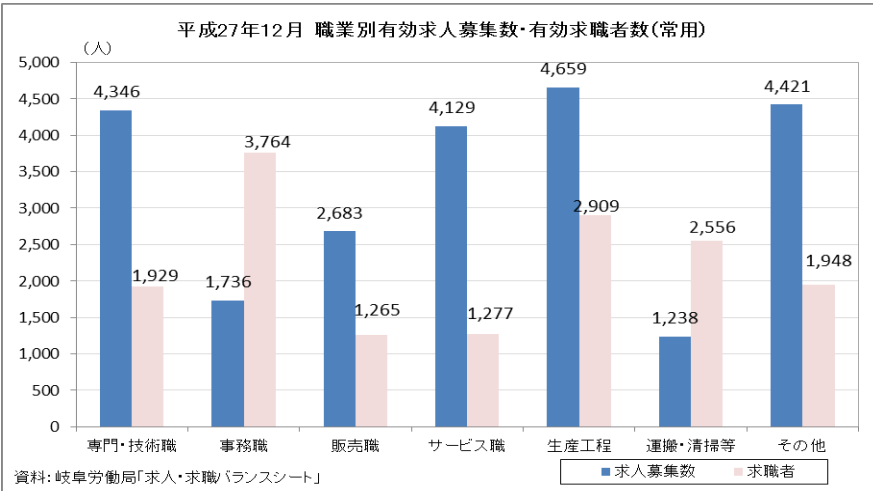
現場の動き

- ◆大手企業が求人数を増加させており中小企業の求人は難しくなっている。
- ◆製造業への就職希望者が減少しており、採用が厳しい状況。(以上、プラスチック)
- ◆求人に対して応募がなく、現場の人手不足が解消されず、暫定的な応急措置として派遣を解禁した。(食料品)
- ◆多業態の時給上昇で、人材の流出と募集不足が継続している。(コンビニ)
- ◆専門職(技術職)や、建設業、製造業、運送業は人手不足感が強い。(金融)
- ◆現場での人材不足は依然変わらず。技術職募集は他県での採用が多く、県内採用が難化。
- ◆名古屋駅周辺での求人増加もあり、県外へ流れるケースも以前より増加している。(以上、人材派遣)

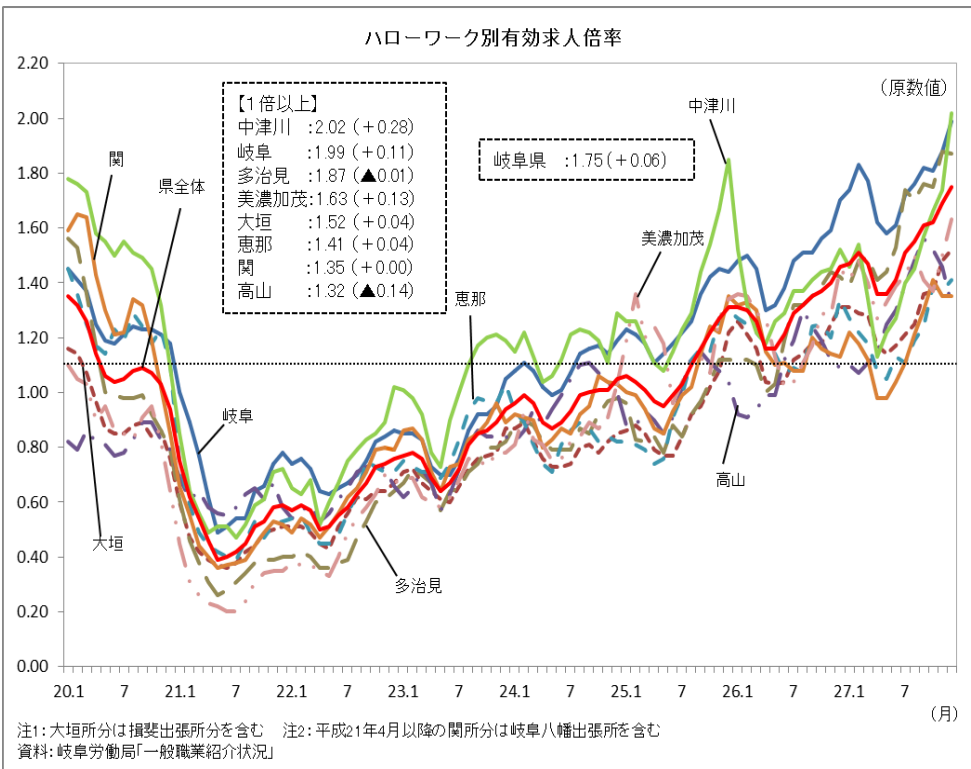
雇 用(職業別)

- 「事務職」や「運搬・清掃等職」では、求人募集数と求職者数のギャップが大きい状況が続いている。
- 雇用調整助成金は東日本大震災直後に急増したが、現在は減少傾向にある。

- 12月の主要産業における新規求人数は、生産用機械が前年同月比89.5%、窯業・土石が同54.8%、はん用機械が同24.1%、金属製品が同3.1%増加したが、輸送用機械が同16.1%、電気機械が同20.3%減少した。



雇用(地域別)



現場の動き(先月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数、求職者数はともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数はともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数はともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数、求職者数はともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は増加、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子>

- ◆岐阜、大垣、多治見、高山、恵那、関、美濃加茂、中津川は混雑。

<ハローワーク美濃加茂>

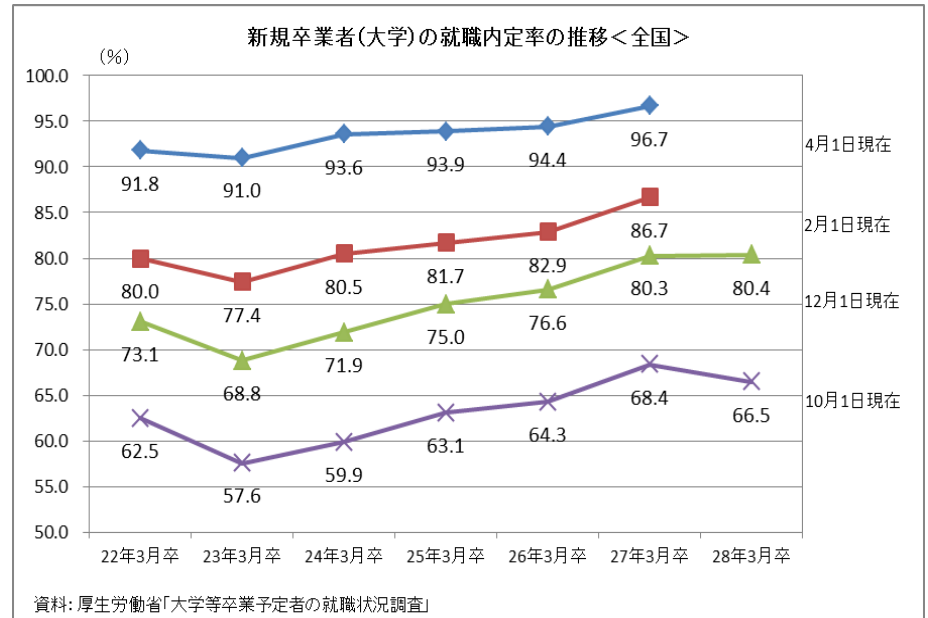
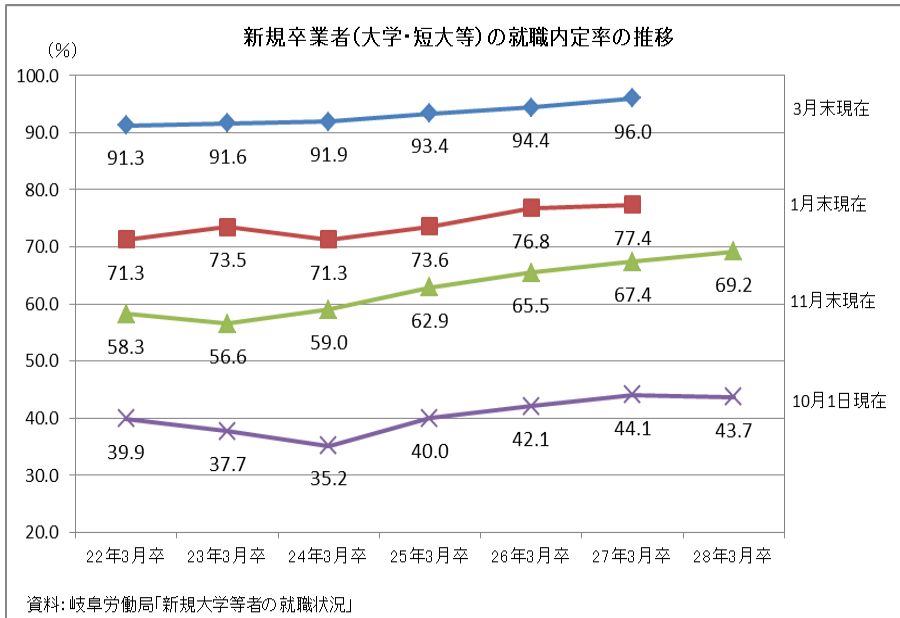
- ◆求人者数、求職者数はともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○11月末時点の大学・短大卒業者(平成28年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比1.8ポイント増加し、最近7年間に於いて最も高い水準となった。



現場の動き(平成28年3月卒の就活状況等)

【岐阜県内の主な大学】

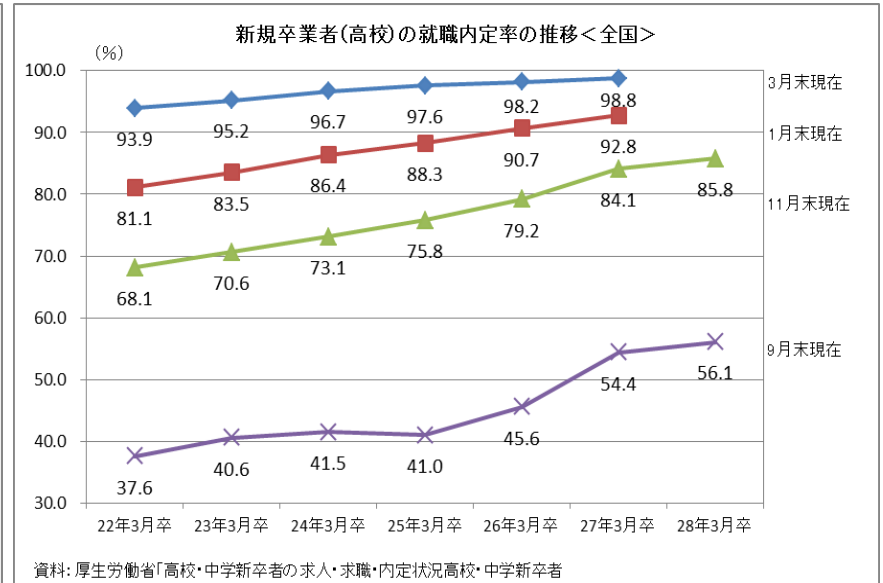
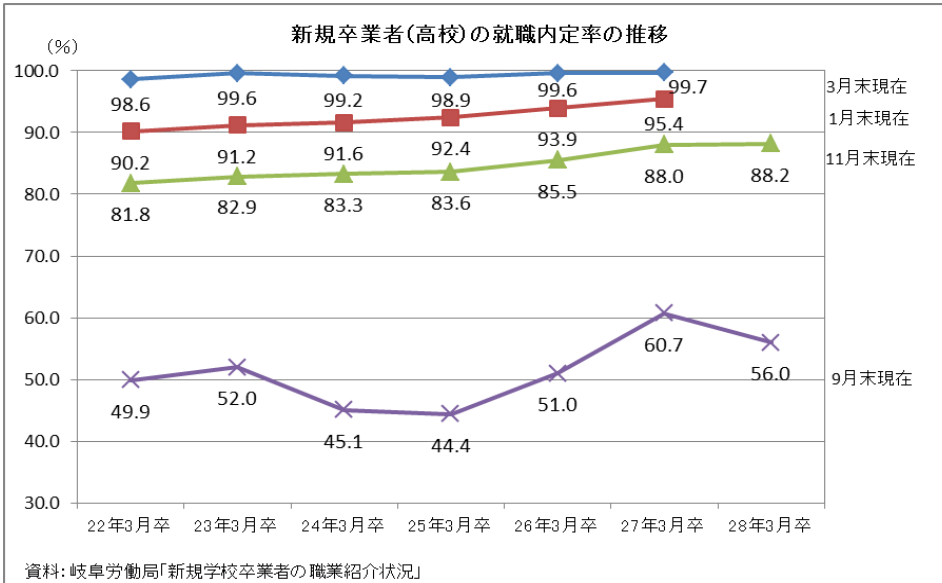
- ◆平成28年度採用の内定率は、学部全体で80.9%前後。大学院生で84.6%の状況。
- ◆内定率は、85%前後を推移。
- ◆内定率は、70%前後。

【愛知県内の主な大学】

- ◆平成28年度採用の内定率は、全学部を通して91.6%。
- ◆内定率は、約80%超を推移。
- ◆内定率は、学生からの報告ベースで74.4%

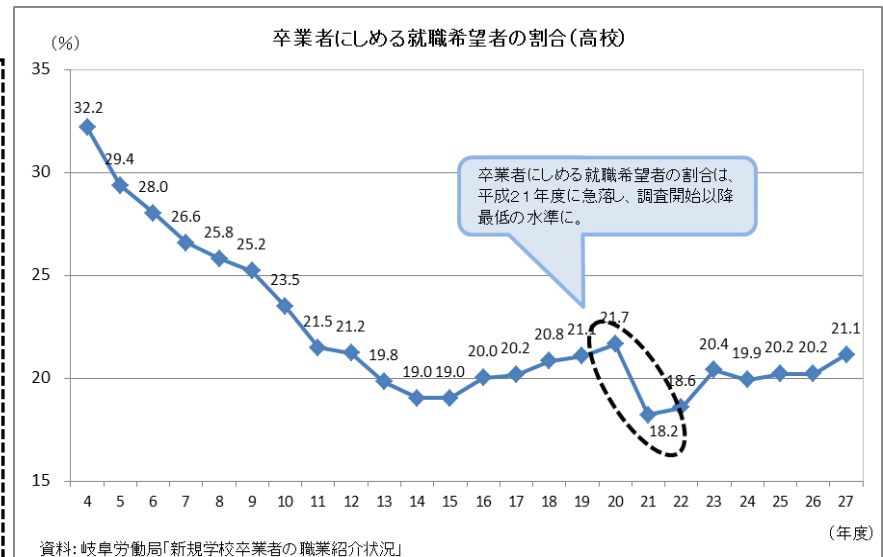
雇 用(高校新卒者の就職)

○11月末時点の高校卒業生(平成28年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比0.2ポイント増加し、最近7年間で最も高い水準となった。



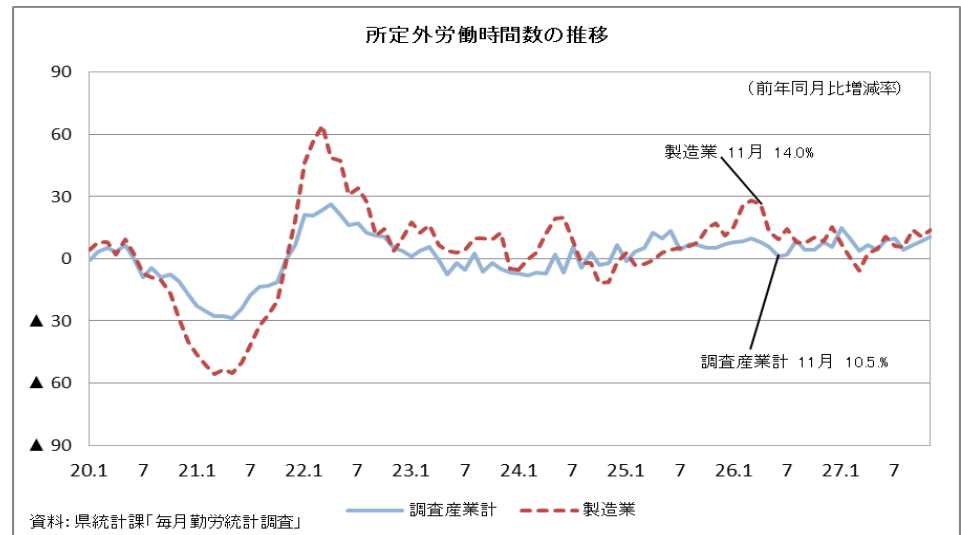
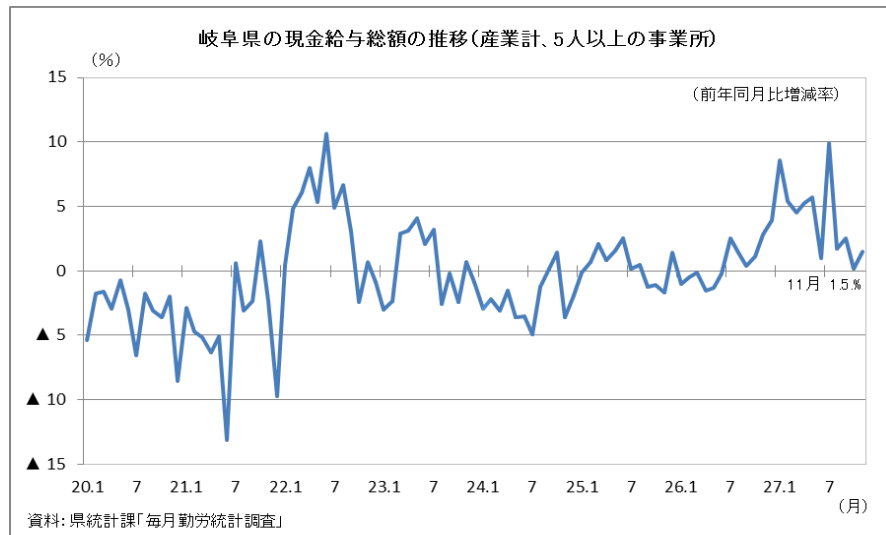
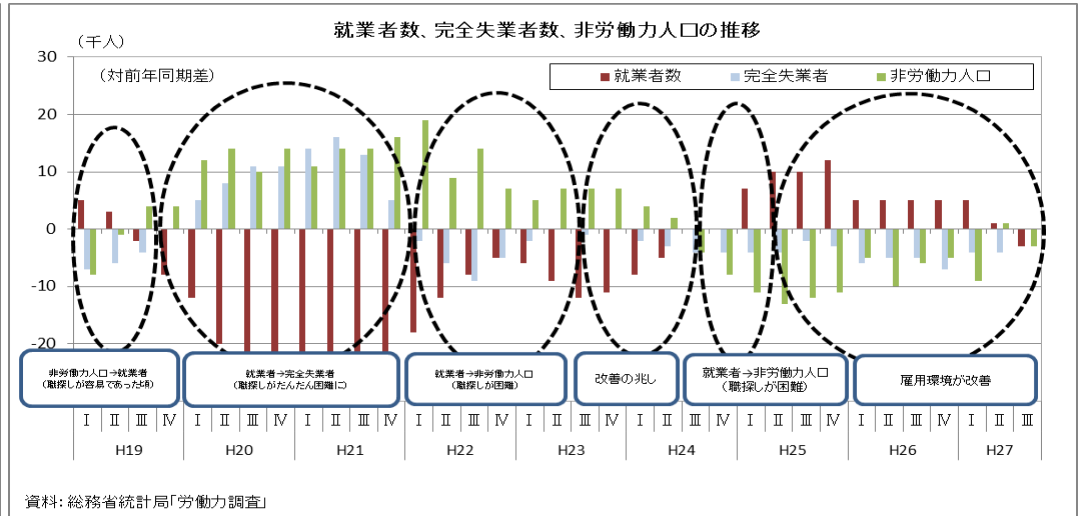
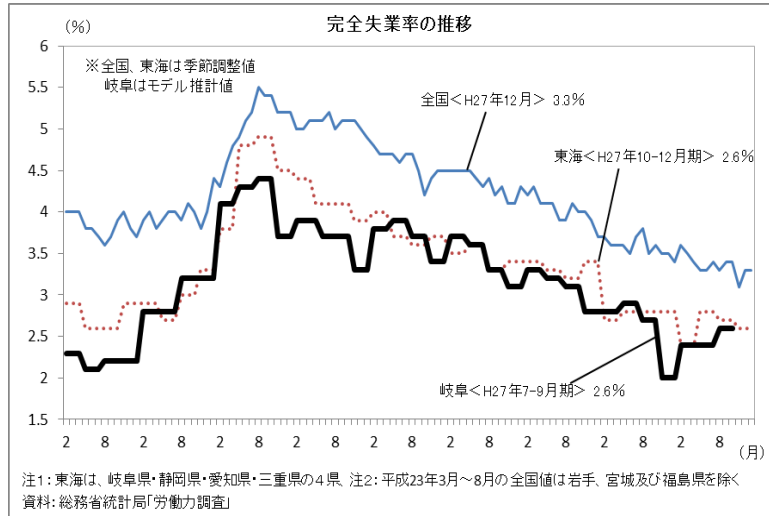
現場の動き

- <ハローワーク岐阜> 求人は減少、内定は増加。
- <ハローワーク大垣> 求人は増加、内定は横ばい。
- <ハローワーク多治見> 求人は減少、内定は増加。
- <ハローワーク高山> 求人は増加、内定は増加。
- <ハローワーク恵那> 求人は増加、内定は増加。
- <ハローワーク関> 求人、内定はともに横ばい。
- <ハローワーク美濃加茂> 求人は横ばい、内定は減少。
- <ハローワーク中津川> 求人は減少、内定は横ばい。



雇 用(完全失業率)

○平成27年7-9月期の完全失業率は2.6%と前期より0.2ポイント上昇した。
 ○平成21年以降、職探しが困難な状況のなか、平成23年に改善の兆しを見せた。平成24年に再び
 厳しい状況となったが、平成25年以降に雇用環境は改善している。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業全体では、輸入原料の高騰によるコスト高が続いている。中国経済の影響も見られるものの、輸送用機械関連を中心に受注や生産は順調に推移している。
- 直近の円安の動きについては、原材料価格の上昇が続き、製造コストを一層押し上げている上に、販売価格への転嫁が進んでいない企業が見受けられる。しかしながら、原油価格の下落を背景に企業のコスト負担は和らいでいる。
- 地場産業は、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いているものの、生産に落ち着きを見せ始めた企業も一部でみられる。
- 個人消費は、雇用環境の改善による賃金上昇を背景に、消費の裾野は徐々に広がりつつある。売上が前年同月比を上回るまでに回復している小売店も見受けられ、駆け込み消費の反動減は和らいでいる。
- 観光では、宿泊施設、観光入込客ともに、暖冬の影響により観光客の旅行意欲が衰えず、また降雪が少なく道路状況が良かったことが幸いし、前年比で好調を維持している。
- 雇用面では、大学・短大・高校卒業者の就職内定率が最近7年間で最も高い水準となっていることから、総じて県内の雇用情勢は回復基調にあるものの、製造業の一部や建設業、非製造業では、人手不足に陥っている企業が見受けられる。
- 企業の資金繰りは、改善傾向にある。新規融資実績は、横ばいの状況が続いているが、業況の悪化している業種に属する中小企業者を支援するための措置である「セーフティネット保証5号」の承諾実績が、増加に転じつつある。